

スコアシート 基本設計段階						
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体
Q 建築物の環境品質						3.5
Q1 室内環境			0.40	-	-	4.0
1 音環境		3.0	0.15	3.1	1.00	3.1
1.1 室内騒音レベル	-	3.0	0.50	3.0	0.50	
1.2 遮音	-	3.0	0.50	3.3	0.50	
1 開口部遮音性能	-	3.0	1.00	3.0	0.30	
2 界壁遮音性能	遮音等級D-50	3.0	-	4.0	0.30	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)	-	1.0	-	3.0	0.20	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)	-	3.0	-	3.0	0.20	
1.3 吸音	-	3.0	-	3.0	-	
2 温熱環境		2.6	0.35	5.0	1.00	4.8
2.1 室温制御	-	3.0	0.50	5.0	1.00	
1 室温	-	3.0	0.63	-	-	
2 外皮性能	断熱性能等級レベル5 Low-Eガラスを採用	3.0	0.38	5.0	1.00	
3 ゾーン別制御性	-	3.0	-	-	-	
2.2 湿度制御	-	1.0	0.20	-	-	
2.3 空調方式	-	3.0	0.30	-	-	
3 光・視環境		3.0	0.25	4.0	1.00	3.9
3.1 昼光利用	-	4.2	0.30	4.0	0.50	
1 昼光率	共用部3.7% 住居2.9%	5.0	0.60	5.0	0.50	
2 方位別開口	-	-	-	3.0	0.30	
3 昼光利用設備	-	3.0	0.40	3.0	0.20	
3.2 グレア対策	-	2.0	0.30	4.0	0.50	
1 昼光制御	カーテンと庇により制御	2.0	1.00	4.0	1.00	
3.3 照度	-	3.0	0.15	-	-	
3.4 照明制御	-	3.0	0.25	-	-	
4 空気質環境		3.6	0.25	3.6	1.00	3.6
4.1 発生源対策	-	4.0	0.60	4.0	0.63	
1 化学汚染物質	F☆☆☆☆の建築材料80%以上採用	4.0	1.00	4.0	1.00	
4.2 換気	-	3.0	0.40	3.0	0.38	
1 換気量	-	3.0	0.50	3.0	0.33	
2 自然換気性能	-	-	-	3.0	0.33	
3 取り入れ外気への配慮	-	3.0	0.50	3.0	0.33	
4.3 運用管理	-	-	-	-	-	
1 CO ₂ の監視	-	-	-	-	-	
2 喫煙の制御	-	-	-	-	-	
Q2 サービス性能		-	0.30	-	-	3.5
1 機能性		3.0	0.40	4.4	1.00	4.3
1.1 機能性・使いやすさ	-	3.0	0.40	5.0	0.60	
1 広さ・収納性	-	-	-	-	-	
2 高度情報通信設備対応	通信設備 1Gbps	-	-	5.0	1.00	
3 バリアフリー計画	-	3.0	1.00	-	-	
1.2 心理性・快適性	-	3.0	0.30	3.5	0.40	
1 広さ感・景観	居室の天井高2.5m	-	-	4.0	0.50	
2 リフレッシュスペース	-	-	-	-	-	
3 内装計画	-	3.0	1.00	3.0	0.50	
1.3 維持管理	-	3.0	0.30	-	-	
1 維持管理に配慮した設計	-	3.0	0.50	-	-	
2 維持管理用機能の確保	-	3.0	0.50	-	-	
2 耐用性・信頼性		3.0	0.30	-	-	3.0
2.1 耐震・免震・制震・制振	-	3.0	0.50	-	-	
1 耐震性(建物のこわれにくさ)	-	3.0	0.80	-	-	
2 免震・制震・制振性能	-	3.0	0.20	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数	-	3.4	0.30	-	-	
1 躯体材料の耐用年数	住宅性能劣化等級3に相当	5.0	0.20	-	-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔	-	2.0	0.20	-	-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔	-	3.0	0.10	-	-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔	-	3.0	0.10	-	-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	B以上(硬質塩化ビニル管、水道用ポリエチレン管)	5.0	0.20	-	-	
6 主要設備機器の更新必要間隔	-	2.0	0.20	-	-	
2.4 信頼性	-	2.6	0.20	-	-	
1 空調・換気設備	-	3.0	0.20	-	-	
2 給排水・衛生設備	-	1.0	0.20	-	-	
3 電気設備	-	3.0	0.20	-	-	
4 機械・配管支持方法	-	3.0	0.20	-	-	
5 通信・情報設備	-	3.0	0.20	-	-	

3	対応性・更新性		2.8	0.30	2.9	1.00	2.8
	3.1 空間のゆとり		-	-	2.8	0.50	
	1 階高のゆとり	基準階階高2.92m	-	-	4.0	0.60	
	2 空間の形状・自由さ	-	-	-	1.0	0.40	
	3.2 荷重のゆとり	-	-	-	3.0	0.50	
	3.3 設備の更新性		2.8	1.00	-	-	
	1 空調配管の更新性	-	3.0	0.20	-	-	
	2 給排水管の更新性	-	2.0	0.20	-	-	
	3 電気配線の更新性	-	3.0	0.10	-	-	
	4 通信配線の更新性	-	3.0	0.10	-	-	
	5 設備機器の更新性	-	3.0	0.20	-	-	
	6 バックアップスペースの確保	-	3.0	0.20	-	-	
Q3	室外環境(敷地内)		-	0.30	-	-	3.0
1	生物環境の保全と創出	-	3.0	0.30	-	-	3.0
2	まちなみ・景観への配慮	-	3.0	0.40	-	-	3.0
3	地域性・アメニティへの配慮		3.0	0.30	-	-	3.0
	3.1 地域性への配慮・快適性の向上	-	3.0	0.50	-	-	
	3.2 敷地内温熱環境の向上	-	3.0	0.50	-	-	
LR	建築物の環境負荷低減性		-	-	-	-	3.5
LR1	エネルギー		-	0.40	-	-	4.0
1	建物外皮の熱負荷抑制	住棟平均UA 0.37(設計値)	4.0	0.20	-	-	4.0
2	自然エネルギー利用	-	3.0	0.10	-	-	3.0
3	設備システムの高効率化	BEI 0.74	4.6	0.50	-	-	4.6
	集合住宅以外の評価	-	-	-	-	-	
	集合住宅の評価	-	4.6	1.00	-	-	
4	効率的運用		3.0	0.20	-	-	3.0
	集合住宅以外の評価	-	-	-	-	-	
	4.1 モニタリング	-	-	-	-	-	
	4.2 運用管理体制	-	-	-	-	-	
	集合住宅の評価	-	3.0	1.00	-	-	
	4.1 モニタリング	-	3.0	0.50	-	-	
	4.2 運用管理体制	-	3.0	0.50	-	-	
LR2	資源・マテリアル		-	0.30	-	-	3.1
1	水資源保護		3.4	0.20	-	-	3.4
	1.1 節水	節湯水洗、節水型便器	4.0	0.40	-	-	
	1.2 雨水利用・雑排水等の利用		3.0	0.60	-	-	
	1 雨水利用システム導入の有無	-	3.0	1.00	-	-	
	2 雑排水等利用システム導入の有無	-	-	-	-	-	
2	非再生性資源の使用量削減		2.7	0.60	-	-	2.7
	2.1 材料使用量の削減	-	3.0	0.10	-	-	
	2.2 既存建築躯体等の継続使用	-	3.0	0.20	-	-	
	2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用	-	3.0	0.20	-	-	
	2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	-	1.0	0.20	-	-	
	2.5 持続可能な森林から産出された木材	-	2.0	0.10	-	-	
	2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	躯体+軽鉄+仕上げ材のディテールを採用	4.0	0.20	-	-	
3	汚染物質含有材料の使用回避		4.0	0.20	-	-	4.0
	3.1 有害物質を含まない材料の使用	ビニールクロス用接着剤	4.0	0.30	-	-	
	3.2 フロン・ハロンの回避		4.0	0.70	-	-	
	1 消火剤	-	-	-	-	-	
	2 発泡剤(断熱材等)	A種1Hノンフロン剤使用	5.0	0.50	-	-	
	3 冷媒	-	3.0	0.50	-	-	
LR3	敷地外環境		-	0.30	-	-	3.4
1	地球温暖化への配慮	排出率73%	4.0	0.33	-	-	4.0
2	地域環境への配慮		3.0	0.33	-	-	3.0
	2.1 大気汚染防止	-	3.0	0.25	-	-	
	2.2 温熱環境悪化の改善	-	3.0	0.50	-	-	
	2.3 地域インフラへの負荷抑制		3.2	0.25	-	-	
	1 雨水排水負荷低減	-	3.0	0.25	-	-	
	2 污水处理負荷抑制	-	3.0	0.25	-	-	
	3 交通負荷抑制	それぞれのスペースを確保	4.0	0.25	-	-	
	4 廃棄物処理負荷抑制	-	3.0	0.25	-	-	
3	周辺環境への配慮		3.1	0.33	-	-	3.1
	3.1 騒音・振動・悪臭の防止		3.0	0.40	-	-	
	1 騒音	-	3.0	1.00	-	-	
	2 振動	-	-	-	-	-	
	3 悪臭	-	-	-	-	-	
	3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制		3.0	0.40	-	-	
	1 風害の抑制	-	3.0	0.70	-	-	
	2 砂塵の抑制	-	1.0	-	-	-	
	3 日照障害の抑制	-	3.0	0.30	-	-	
	3.3 光害の抑制		3.7	0.20	-	-	
	1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	広告物照明を行っていない	4.0	0.70	-	-	
	2 屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策	-	3.0	0.30	-	-	

評価する取組み	合計	合計2	No.1	No.2	No.3	No.4	No.5	No.6	No.7	No.8	No.9	No.10	No.11	No.12	No.13
Q2 サービス性能															
1.2.3 内装計画	2.0	2.0	○	○	-	-	-	○	-	○					
1.3.1 維持管理に配慮した設計	3.0		-	-	○	-	○	-	-	-	-	-	○		-
1.3.2 維持管理用機能の確保	4.0		-	-	○	○	○	-	-	-	-	-	-	○	-
2.4.1 空調・換気設備	1.0		○	-	○	-	-								
2.4.2 給排水・衛生設備	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
2.4.3 電気設備	1.0	-	-	-	-	○	-	-							
2.4.5 通信・情報設備	2.0		○	-	○	-	-	-							
Q3 室外環境(敷地内)															
1 生物資源の保全と創出	7.0		-	-	3.0	-	-	1.0	1.0	-	1.0	1.0	-		
2 まちなみ・景観への配慮	3.0		2.0	1.0	-	-	-	-							
3.1 地域性への配慮、快適性の向上	2.0		-	-	1.0	-	-	1.0	-	-					
3.2 敷地内温熱環境の向上	9.0		-	1.0	1.0	3.0	-	-	-	2.0	2.0				
LR1 エネルギー															
2 自然エネルギー利用	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
LR2 資源・マテリアル															
1.2.2 雑排水等再利用システム導入の有無			-	-	-	-	-	-	-	-					
2.1 材料使用量の削減	1.0		-	-	1.0										
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用			-	-	-	-	-								
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	1.0		○	-	-	-									
3.1 有害物質を含まない材料の使用	1.0														
LR3 敷地外環境															
2.2 温熱環境悪化の改善	9.0		1.0	-	-	2.0	3.0	-	-	-	3.0	-			
2.3.3 交通負荷抑制	3.0		1.0	-	1.0	1.0	-	-							
2.3.4 廃棄物処理負荷抑制	3.0		1.0	1.0	-	-		1.0	-						
3.2.2 砂塵の抑制	-		-	-											
3.3.1 屋外照明及び屋内照明のうちに漏れる光への対策	3.0		1.0	2.0											

主な指標

Q1 室内環境

2.1.3 外皮性能

窓システムSC	-	窓の日射熱取得率(η)	-					
U値(W/m2K)	窓システム	-	屋根	-	外壁	-	床	-
住戸部分	窓システムU値	-	外皮UA値	0.4	η AC	1.1	η AH	-
昼光率	3.7%	2.9%						
自然換気有効開口面積率	-							

3.1.1 昼光率

4.2.2 自然換気性能

Q2 サービス性能

1.1.1 広さ・収納性

1.1.2 高度情報通信設備対応

1.2.1 広さ感・景観

1.2.2 リフレッシュスペース

2.2.1 躯体材料の耐用年数

2.2.2 外壁仕上材の補修必要間隔

2.2.3 主要内装仕上材の更新必要間隔

2.2.6 主要設備機器の更新必要間隔

3.1.1 階高のゆとり

3.1.2 空間の形状・自由さ

3.2 荷重のゆとり

執務スペース	-	/人	病床	-	/床	シングル	-	ツイン	-
コンセント容量	-	VA/m ²							
天井高	2.5m	m							
リフレッシュスペース	-		レストスペース	-					
想定耐用年数	75~90	年							
想定必要間隔	-	年							
想定必要間隔	-	年							
想定必要間隔	-	年							
階高	2.92m	m							
壁長さ比率	94.9%								
床荷重	-	N/m ²							

Q3 室外環境(敷地内)

1 生物資源の保全と創出

3.2 敷地内温熱環境の向上

外構緑化指数		58%		建物緑化指数		0%	
空地率	59%	水平投影面積率	12%	地表面对策面積率	40%	舗装面積率	37%

LR1 エネルギー

1 建物外皮の熱負荷抑制

2 自然エネルギー利用

BPI/BPI _m	0.97	断熱等性能等級	等級5 相当				
自然エネルギー直接利用量	0 MJ/年㎡	採光を満たす教室数	-	採光を満たす住戸数	80.0%		
		通風を満たす教室数	-	通風を満たす住戸数	80.0%		
		太陽光	3.7kW	太陽熱等	-	蓄電池	-
BEI/BEI _m	再エネ有	-	無	-	オフサイト再エネ有	-	-
一次エネルギー削減率	再エネ有	26%	無	26%		-	-

LR2 資源・マテリアル

1.2.1 雨水利用システム導入の有無

2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用

2.5 持続可能な森林から産出された木材

3.2.1 消火剤

3.2.2 発泡剤(断熱材等)

3.2.3 冷媒

雨水利用率	-				
特定調達品目	-	エコマーク商品	-	自治体指定の特定品目等	-
使用比率	0.0%				
オゾン層破壊係数(ODP)	-	地球温暖化係数(GWP)	-		
オゾン層破壊係数(ODP)	0	地球温暖化係数(GWP)	1以下		
オゾン層破壊係数(ODP)	-	地球温暖化係数(GWP)	-		

LR3 敷地外環境

2.2 温熱環境悪化の改善

見付面積比	265% 隣棟間隔指標Rw 0.43								
地表面对策面積率	57.0%	屋根面对策面積率	0.0%	外壁面对策面積率	0.0%				
見付面積Sb	3,036㎡	卓越風向と直交する最大敷地幅Ws	113.2 m	基準高さHb	10.11 m				
緑地	1,574㎡	水面	㎡	保水性対策面	㎡	高反射対策面	㎡	再帰性反射対策面	㎡